



人権啓発コーナー

新年度がスタート

4月は新年度がスタートする月です。

新入生、新社会人、新しい職場、新しい地域。それぞれで新しい出会いが始まります。

コミュニケーションの始めは、あいさつからやってみてはどうでしょうか。

・おはようございます
・いってきます
・いつまでっしょい
・ただいま
・おかえりなさい
・おつかれさまです

表現の仕方はさまざまです。ぜひチャレンジしてみましょう。そして、困ったら一人で悩まず、誰かに相談しましょう。

互いに励まし合い、人が尊重され、生きがいを感じられる温かい町づくりをしましょう。

子ども人権教室

人権啓発動画「むしむし村の仲間たち」と「名前：それは燃えるいのち」を視聴しました。

生まれてから少年期までの仲間づくりは誰もが悩むことです。互いの気持ちに分かり合え、通じ合えたらと思います。

その後、勾玉作りを行いました。古代の歴史を持つ氷川町。受け継がれる勾玉作り。



▲上手にできるかな？

問 生涯学習課
0965・52・5860



地域おこし協力隊 活動レポート ②8



▲2月は晩白柚を使った料理教室を開催しました。干しエビと晩白柚のちらし寿司、ムース、ジャム、化粧水を作ると、調理室は晩白柚の爽やかな香りに包まれました。

料理教室 ～春の料理～

日時 4月22日① 10時～、② 13時30分～ (各定員10人)
場所 氷川町公民館 調理室 参加費 500円 締切 4月14日
持参物 エプロン、三角巾、タオル、保冷バッグ、水筒
申込 地域おこし協力隊 蜂須(農業振興課内) ☎0965-52-5854



▲Instagram



八火図書館だより

4月23日から5月12日までは「こどもの読書週間」です。
65回目となる今年の標語は「ひらいてとじた 笑顔がふえた」です。
この機会に、ぜひ家族で一緒に読書を楽しみ、笑顔になれる本と出会ってみませんか。

新着図書紹介

一般書	児童書
一睡の夢 家康と淀殿 伊東 潤 鎌倉駅徒歩8分、空室あり	くまの子ウーフのたからもの 神沢 利子 まんぷくてつどうまいもんめぐり 井上 よう子
越智 月子 中庭のオレンジ 吉田 篤弘	ハルルさんのひでんカレー すずき もも
百万本のバラ物語 加藤 登紀子	せんたくかごのないしょのはなし こがしわ かおり

本屋大賞ノミネート10作品

2023年本屋大賞のノミネート作品が決まりました。
4月12日の大賞発表が待ち遠しいですね。
▲ノミネート作品はこちら

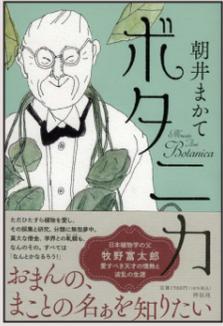


おすすめ図書

ボタニカ

朝井 まかて

小学校中退でありながら理学博士の学位を得るなど、日本植物学の父と呼ばれた牧野富太郎の生涯を描いた作品。富太郎を支えた(振り回された)周りの人物の生き様もまた見事で印象深い。



問 八火図書館
0965・62・3489

町民文芸

投稿先：〒869-4814 氷川町島地642番地
企画財政課宛 (毎月5日必着)

短歌

六十年走り続けたマイカーを
手放し手押しの車で散歩
西上宮 村内 一誠
たらちねの母なるみかんもぐまじく
枝に水まき天あふぎけり
北野津 井田 道寛

もうせんに平にかざるおひな様
平成かざりと名付けておこう
西野津 古崎 スエノ
採血の検査結果は正常と
医師の小声に嬉しなり
西野津 古崎 栄子

電線に居並ぶ雀声高く
この世の平和謳歌しており
吉本 高橋 澄子
俳句
今年またつがひのめじろ来て遊ぶ
西上宮 村内 一誠

清明の風や氷川をすべりゆく
北野津 井田 道寛
初咲きの紅・白しだれ梅日和
西野津 古崎 スエノ

裏庭の餅の如く雪残る
西野津 古崎 栄子
道草や緑に映えて春を告げ
吉本 高橋 澄子

「雪国」VS「山の音」

法道寺 本田 花風

『信吾の語りかけから「修一があのことをしているのに、わたしは今まで、菊子の相談にも乗ってやらない。いっしょにいるかいない親だ。これはやはり、お前たちが二人きりになったら、二人だけでいい解決が見つからないか。」「いいえ、お父さまがなにもおっしゃらないで、私のことを察じて、いたわって下さるのが、よく分かりますわ。私はそれにすがって、こうしていられるんですもの。』菊子は大きい目に、涙をためた。』

もう少し『尾形家を出て修一と二人で暮らすように菊子に勧める信吾に、菊子は修一との別れを想定して「真剣な顔」で言う。「もし別れましたら、お父さまにどんなお世話でもさせていただけると思ひますの。」「それは菊子の不幸だ。」「いいえ。よるこんですることに、不幸はありませんわ。』始めて菊子の情熱の表現であるかのやうで、信吾ははっとした。危険を感じた。』
ここには菊子の感情のたかまりが看取される。露わな愛情表現こそないが、菊子の言葉は彼女の切実な思慕を語って余りある。信吾と菊子の語らいの場面である。